

屋久島生態系モニタリング

屋久島南部植生垂直分布調査 (平成15年度調査)

・湯泊歩道沿い(標高1400m地点)

プロットは、湯泊林道沿いの広葉樹二次林内に設定した。付近は、沢部右岸の緩～急斜面である。プロットの南側は、いくつかの岩を経て小尾根になっている。小沢を挟んだ林道沿いには水道施設がある。

プロットの階層別植生は、高木層では、全体として植被率が低くなっている。おもな出現樹種は、シマサルスベリ・ヤクシマオナガカエデ・エゴノキ・バリバリノキで、個体数は少ないがハマセンダン・フカノキ・ヤクシマカラスザンショウも混生する。

亜高木層では、ハドノキが最も多く、ついでモクタチバナ・イヌビワ・アオガシの個体数が多い。他にはヒサカキ・シマサルスベリ・フカノキ・スダジイ・バリバリノキが生育する。個体数は少ないが、ミズバイ・ヤマビワ・イスノキなども出現する。

低木層では、モクタチバナが最も多いがバリバリノキ・ヒサカキ・ハドノキも多い。植被率は約10%と低いものの出現種数は多い。(24種)

草本層では、カツモイデ・ヒロハノキ・リシダ・ホウビシダ・ヘツカシダ・リュウビシダ・ツルホコケ・スホシクリハラシなど、シダ植物が多い。シマイセンリウ・ヤクシマシサイリミノキ・フウトウカヅラ・ヒメアリドウシも個体数が多く植被率が高い。



環境学級(林業体験)

野口健の「環境学校」林業体験の開催

登山家としての経験を活かして、環境学級の子どもたちに、自然の大切さや、林業の大切さを伝える。また、環境学級の子どもたちに、自然の大切さや、林業の大切さを伝える。また、環境学級の子どもたちに、自然の大切さや、林業の大切さを伝える。

保護林内のヤクタネゴヨウ

保護林内のヤクタネゴヨウ



この連絡会議は、林野庁と関係する自然遺産等の調査・研究を推進する方針等の策定に協力する。また、地元の有識者や専門家による調査・研究を推進する。また、地元の有識者や専門家による調査・研究を推進する。



会議の様子

屋久島における貴重な自然遺産等を保全

第七回屋久島世界遺産等調査研究推進連絡会議の開催



白谷雲水峡

係者十二名が出席し、十七年度事業計画と進行状況を報告した。また、白谷雲水峡の設置問題について、関係機関と協議する。また、関係機関と協議する。

屋久島の植物



ウマノアシガタ
(きんぼうげ科)

ヤクタネゴヨウの群生地を植物群落保護林に指定

種子島で天然更新しているヤクタネゴヨウの群生地を、植物群落保護林に指定する。また、植物群落保護林に指定する。

全国の荒地や道路脇に生える多年草。高さ約50cm、葉は黄緑色、花は白色、深さ約2cm。また、葉は黄緑色、花は白色、深さ約2cm。

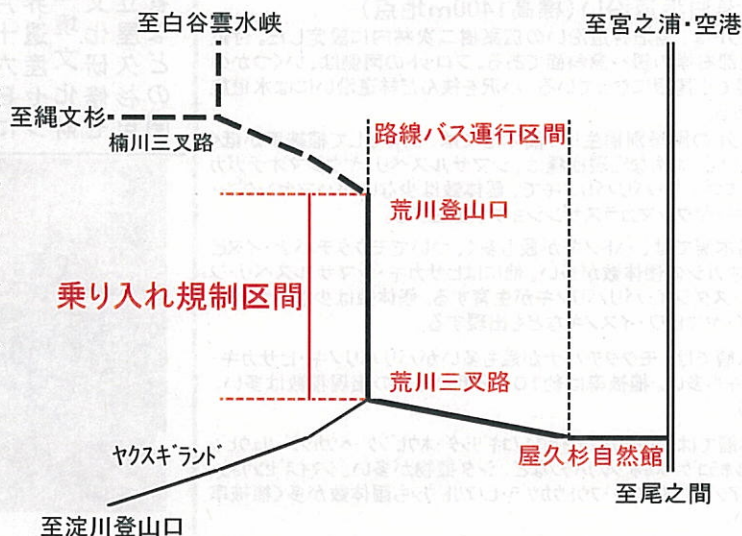
平成18年度ゴールデンウィーク期間中の車両乗り入れ規制

期 間：平成18年5月4日(木)から5月6日(土)の3日間

時 間：午前4時30分～午前8時まで

区 間：町道荒川線入口(荒川三叉路)～荒川登山口まで

「屋久島山岳部利用対策協議会」では、縄文杉登山者の増加により、荒川登山口駐車場や車道終点付近での混雑が著しい状況となっているため、平成12年度から渋滞緩和や環境保全などの観点から一般車両の乗り入れ規制を実施しています。



ご協力をお願いします。

熊毛森林計画区の地域管理経営計画、国有林野事業実施計画の策定について(公表)

国有林野の管理経営に関する法律(昭和26年法律第246号)等に基づき、熊毛森林計画区の地域管理経営計画、国有林野事業実施計画を策定しました。

この計画につきましては縦覧コーナーを設置しておりますので、どなたでも下記の要領でご覧になることができます。

記

- 1 公表分の掲示期間:平成18年4月1日～平成18年4月14日まで。
- 2 縦覧期間及び時間:平成18年4月1日～平成18年4月14日(但し、土・日曜日及び祭日は除く)、8時30分から17時までです。なお、縦覧期間を過ぎてもご希望があればその都度ご覧になれます。
- 3 縦覧場所:屋久島森林管理署
- 4 その他:詳しい内容は担当者(屋久島森林管理署 流域管理調整官 TEL46-2111)までご連絡下さい。